

野田民主党政権のエネルギー・原子力政策に関する発言・見解

2011年9月14日 日本原子力産業協会 情報・コミュニケーション部

| | エネルギー政策の方向性 | 既存原発(福島対応)方針 | 将来原発 | 燃料サイクル政策 | その他 |
|-----------------|---|--|--|--|---|
| 野田佳彦 首相 | [9/13所信表明演説] ・2030年までをにらんだエネルギー基本計画を白紙から見直し、来年の夏をめどに、新しい戦略と計画を打ち出す。その際、エネルギー安全保障の観点や費用分析などを踏まえ、国民が安心できる中長期的なエネルギー構成の在り方を、幅広く国民各層のご意見を伺いながら、冷静に検討していく ・原子力発電について、「脱原発」と「推進」という二項対立でとらえるのは不毛。中長期的には、原発への依存度を可能な限り引き下げていく、という方向性を目指すべき ・わが国の誇る高い技術力をいかし、規制改革や普及促進策を組み合わせ、省エネルギーや再生可能エネルギーの最先端のモデルを世界に発信する | [9/13所信表明演説] ・原発事故の収束は「国家の挑戦」。福島の再生なくして、日本の信頼回復はない ・事故収束に向けた工程表の着実な実現を図る。世界の英知を集め、技術的な課題も乗り越える。原発事故が再発することのないよう、国際的な視点に立って事故原因を究明し、情報公開と予防策を徹底する ・安全性を徹底的に検証・確認された原発については、地元自治体との信頼関係を構築することを大前提として、定期検査後の再稼働を進める | | | [9/13所信表明演説] ・各国の先頭に立って核軍縮・核不拡散を訴え続けるとともに、原子力安全や防災分野における教訓や知見を他国と共有する ・生活空間にある放射性物質を取り除く大規模な除染を、自治体の協力も仰ぎつつ、国の責任として全力で取り組む ・原子力安全規制の組織体制については、環境省の外局として、「原子力安全庁」を創設して規制体系の一元化を断行する |
| | [9/2就任会見] ・将来的に脱原子力依存 ・国民の不安を取り除く形のエネルギーのベストミックスを構築する ・新エネルギーの開発、自然エネルギーの普及、省エネ社会を着実に推進をさせる流れの中で、エネルギーの基本的計画を作り上げる | [9/2就任会見] ・福島の再生なくして日本の再生はない ・原子力発電所は寿命の来たものを更新をするということはない。廃炉にしてい ・当面はストレスチェック等をふまえて、安全性をきちんと確保しながら、地元の理解を前提に定期検査の原発を再稼働する。電力不足が国内経済の足かせにならないよう配慮する | [9/2就任会見] ・新たに造るのは現実的に困難だ | | |
| 枝野幸男 経産相 | [9/12就任会見] ・CO2排出削減については可能な限り最大限の努力を行うことは不変だが、具体的な数値目標は事故を踏まえたエネルギー政策のなかで様々な議論が必要 | [9/12就任会見] ・安全性に対して周辺住民の理解をいただく努力をした上で、稼働できる原発は再稼働する | [9/12就任会見] ・(今後の原発建設で)全くの新規(建設)は相当困難なのは大前提。(建設中、準備工事中は)個別に検討しなければならない | [9/12就任会見] ・「もんじゅ」についてもエネルギー・原子力全体政策のなかで徹底して議論を行うべき | |
| 中川正春 文科相 | [9/2就任会見] ・代替・自然エネルギーを中心に達成可能な技術を前提にしながら、核に依存する部分というのを減らしていきエネルギーのベスト・ミックスを | | | [9/2就任会見] ・核燃料サイクル部門と原子力部門の研究・開発はリスクとエネルギー・ミックスの観点で議論すべき ・核燃料サイクルをどのように位置付けていくかは、文科省だけの話でなく政権としてあるいは野党も含めて国民的議論を ・もんじゅは短期的には予算をつけるべきと考えており、国民と携わる人たちが納得できるような専門委員会で検証していく | |
| 細野豪志 環境・原発相 | [9/4共同会見] ・自然エネルギーや節電といった要因を踏まえ、2020年に(1990年比で)25%(温室ガス排出量を削減する)の目標は守っていくことが望ましい | [9/4共同会見] ・原発の「寿命」については科学的にしっかり判断 ・安全庁は廃炉についてかなり関わることになるのでは | | [9/13閣議後会見] ・燃料サイクルについては、古川国家戦略担当相のところでも検討が始まったと聞いているが、特に再処理・バックエンドについては原子力政策大綱で詰めた議論ができると思っている | |
| 古川元久 国家戦略担当相 | [9/2就任会見] ・原発依存度を減らすと同時にそれに代わるエネルギーを短期・中期・長期的にどう確保するか(が課題)。再生可能エネルギー促進が極めて大事。短期的には天然ガス等化石エネルギーの確保も | | | | |